

2. ひまわり王子から挑戦状がきた（小学校との連携を通して）

岡山幼稚園（福島県福島市）

[4～5歳児]

一年生と一緒に「ひまわりの種を蒔き」から「ひまわり畑で宝探し」をする

幼児の姿と教師の願い

⑤5歳児 ④4歳児

幼児の姿	<ul style="list-style-type: none">自分たちで種を蒔いて花や野菜を栽培した経験や、ひまわり王国活動（ひまわり畑での迷路遊び・一年生と一緒にやきいも会）などの体験から、ひまわりの種蒔きには、大変期待をもっている⑤。初めての活動のため、どんなことをするのだろう、ひまわりの王子とは、どんな人なんだろうなどと興味を示している④。地域の協力者（畑を耕すことや野菜の育て方を教えていただく・昔話をしていただく）「お話しあじさん」とのかかわりでは、子どもから大変親しみをもって接している姿が見られる。一年生とは、昨年一緒に過ごしているので、「おにいさん」「おねえさん」という気持ちで、自然な姿でかかわっている⑤。一方、4歳児は、初めてであり、少々戸惑いも見られる④。	
教師の願い	<ul style="list-style-type: none">ひまわり王国の王子からの手紙を見せ、種蒔きに期待をもたせたい。一年生と一緒に一粒ずつ丁寧に種蒔きをすることや、ひまわりの迷路作りをすることを話し、ひまわり王国での遊びに期待をもたせていきたい。種蒔きでは、「どんな芽ができるのだろう?」「いつ芽ができるのかな?」「ひまわりは、いつ咲くのかな?」などの生長過程に関心がもてるようにしていきたい。畑の中では、「お話しあじさん」のやさしさを感じながら一年生と一緒に昔話を聞き、更に温かなかかわりがもてるようにしていきたい。ひまわり王国での宝探しでは、一年生と一緒に育てたひまわりの生長を喜び合うとともに、一緒に力を合わせて、宝物を見つける楽しさが味わえるようにしていきたい。一年生の先生方とお互いに指導案の検討を行い、それぞれのめあてに向かって実践をしていくように、事前と事後の話し合いを十分にし、幼児の心を揺り動かす様々な感動体験を味わわせたい。	

実践内容

青字……疑問に思ったり、心が動いている場面

◆ 一年生が幼稚園にきて、一緒に種まきをする [7月1日] ひまわり王国から宅急便が届いたことを知らせ、届いた小さな小包の中には、ひまわり王国の王子様からの挑戦状とひまわりの種であることをみんなに見せながら、期待感をもたせていた。「何が入っているのかな?」(疑問)「あ!ひまわりの種だ!」(気付き)「やっぱりそうか」と言いながらそれぞれに期待を膨らませている。

一年生と5歳児は、昨年の経験を思い出しながら、「ひまわり畑で遊んだよね!」(気付き)「ひまわり王国の王子様から挑戦状がきて宝探しやドッヂボールをしたよね」「楽しかったね」(気付き)などと昨年の事を思い出している幼児も見られた。昨年の様子をスライドで映写すると「やったよね!」「Aちゃんいるいる」「ひまわりの花きれいだったね」と、昨年の経験を思い出しながら楽しんでいる。

一年生がひまわりの種蒔きについて、大きな画用紙に絵を描いてきて、みんなに説明をしてくれた。「ああやって種を蒔くのか」(発見)「指の穴の所に種を落としてやるんだね」(気付き)と初めて体験する4歳児は、興味深々見入っていた。一年生が種蒔きの仕方を教えてくれたことで、信頼関係も持つことができた。

畑には、一年生と一緒に手をつないで行く。ひまわりの王子からの種は、二人で協力して蒔くようにと、30粒ずつ入った袋をそれぞれが受け取り、一年生と一緒に種蒔きが始まる。「ここにまこうよ」「種なくさないでね!」「ほらこうやって土をかけるといいよ!」(発見)などと一年生は、園児にやさしく教えながら種蒔きを楽しんでいる。「どんな芽ができるのかな?」「いつ芽が出るのかな?」など経験のない4歳児は、疑問の思いを抱き、種蒔きをしていた。



◆ 種蒔きが終わると畑の中で「お話しあじさんの」昔話を聞く。「今日は、どんなお話しかな?」と楽しみにしている声が聞こえてくる。畑の中でのお話しさは、何とも言えないほのぼのとした、部屋の中では味わえない環境であった。

◆ 自分たちで蒔いたひまわりの芽を見て大喜びをする [7月8日] 「見て見て」「ここにもでているよ!」(気付き)「かわいいね!」(感嘆)と子どもたちである。「ねえ、一年生にも知らせてあげようよ」「そうだね!」ひまわりの芽を見て、歓声があがった。「ほら踏まないでね」(気付き)「まだこんなに小さいのだから」(思いやり)とやさしく接している姿も見られた。

◆ 明日から夏休みに入る [7月21日] 「うわ~こんなに育ったよ!」(感嘆)「ほら私の膝くらいかな?」などひまわりが数枚の葉付けた様子をみんなで見にきた。夏休み中どのくらい大きくなっているか楽しみにしていくよう言葉をかけながら、ひまわりの生長の過程に関心をもたせていく。

◆ 2学期が始まる [8月25日] 「すご~い、みてみて!」「こんなに大きくなったの?」(感嘆)「ねえ、迷路で遊んでいこうよ!」と、早速ひまわり畑を観察しながら遊ぶ。「ひまわりの葉っぱってチクチクするよ!」「本当だ。とげみたいだね!」「ひまわりの花の方が僕よりずっと大きいよ」などとひまわりに触れながら様々なことを感じ取っている。

